

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

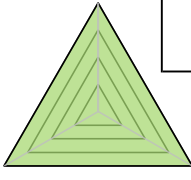
款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号

04010101

事業名		ゼロカーボンハウス促進補助				
担当部署		環境衛生部ゼロカーボン推進室				
根拠法令		苫小牧市環境基本条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	110,000	101,716	83,400	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	102,400	99,177	79,600		
	地方債					
	その他			3,000		
	一般財源	7,600	2,539	800		
	人件費(B)	13,784	13,784	13,784		
	事業費計(A+B)	123,784	115,500	97,184		
事業の目的		ゼロカーボンシティの実現に向けた環境負荷の少ないまちづくりに寄与することを目的とし、住宅用省エネ・再エネ機器を設置する市民に対し、補助金を交付することにより、対象システムの普及促進を図ります。				
事業の内容		対象機器及び補助内容 要綱に定める対象設備の要件を満たしていることを条件に、対象機器の購入・設置に要する費用 1 ZEH+ 100万円／以内 2 太陽光発電システム 7万円／kW（上限額70万円） 3 定置用リチウムイオン蓄電池（2の付帯設備）価格×1／3 4 エコキュート 価格×1／4（上限額18万円） 5 定置用リチウムイオン蓄電池（3の非対象者） ・新築住宅：価格×1／10（上限額12万円） ・既存住宅：価格×1／6（上限額20万円） 6 ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）価格×1／10（上限額4万円） 7 給電装置 価格×1／10（上限額3万円）				
SDGs17の目標		  				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	補助金交付件数		件	254	303	282
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				ゼロカーボンシティの実現に向けた補助制度であり、対象機器の普及が進んでいることから、「4」としました。
効率性		●				対象機器をゼロカーボンの実現に資するものとし、事業を実施していることから、「4」としました。
公平性		●				補助金交付は先着順ですが、すべての希望者に補助を行うことができたことから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		本事業は、国の交付金を活用しており、交付要件が複雑であるため、今後も申請者にわかりやすく周知することが必要と考えています。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

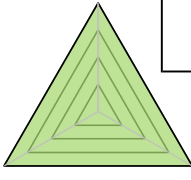
款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号

04010102

事業名		公害測定機器整備事業				
担当部署		環境衛生部ゼロカーボン推進室				
根拠法令		環境基本法、大気汚染防止法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	11,770	10,967	-	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	10,500	10,800			
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,270	167			
	人件費(B)	742	742	-		
	事業費計(A+B)	12,512	11,709	-		
事業の目的		公害の未然防止や市民の健康と安全な生活環境の確保を目的として、大気汚染常時監視測定局内の老朽化した自動測定機の更新を行う事業です。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		  各種環境測定に必要な機器の整備を行い、市内環境状況の把握と市民への情報提供に努めています。令和7年度は、大気明野公園局及び大気勇払局の硫黄酸化物・浮遊粒子状物質測定装置並びに大気双葉局の風向風速計の更新を行いました。 本事業は、大気汚染や航空機騒音等、公害の監視に必要な機器を整備するものであり、長期にわたり継続する事業です。				
						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	大気汚染常時監視実施率(年間有効測定日数/365×100)		%	99	99	99
	大気環境基準達成率		%	91	91	91
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				老朽化及び交換部品供給停止による長期間の欠測リスクが、機器更新により解消したことから、「4」としました。
効率性		●				補助金を活用して機器等を整備することができたことから、「4」としました。
公平性		●				市内全域を対象とした常時監視体制を維持できたことから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		大気汚染常時監視測定装置や航空機騒音監視システムなどの環境監視体制を維持するために、今後も交付金などを活用しながら継続的に整備を行います。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

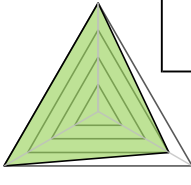
款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号

04010103

事業名		ゼロカーボン推進啓発事業				
担当部署		環境衛生部ゼロカーボン推進室				
根拠法令		苫小牧市環境基本条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	3,122	2,787	2,546	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	2,900	2,787	2,300		
	一般財源	222		246		
	人件費(B)	8,150	8,150	8,150		
	事業費計(A+B)	11,272	10,937	10,696		
事業の目的		ゼロカーボンシティの実現に向けた地球温暖化対策と環境保全に対する、市民の意識醸成を図ることを目的としています。				
事業の内容		ゼロカーボンや環境保全に対する市民への意識啓発として事業を実施しました。 1 広げよう！ゼロカーボンとみんなの暮らし 省エネルギー行動の促進や再生可能エネルギーに関する啓発イベント等の実施 (1) Instagram運用 (2) 親子でエコ・クッキング教室 (3) エコドライブ情報局 (4) 風呂敷講座 (5) ゼロカーボン講演会 (6) ゼロカーボン見学ツアー (7) エネルギー工作教室 (8) ゼロカーボンポスターコンテスト 2 守ろう！豊かな自然とみんなの未来 自然環境の保全に向けた啓発イベントの実施 (1) せせらぎスクール (2) 森林整備体験（北大苫小牧研究林との共同事業）				
SDGs17の目標		     				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	啓発イベント参加人数		人	406	284	1,242
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				本事業の実施により、ゼロカーボンや環境保全に対する意識の醸成が図られていることから、「4」としました。
効率性			●			定員に満たないイベントもあったが、一定の啓発効果が得られたことから、「3」としました。
公平性		●				事業の申込を抽選とし、様々な媒体により市民周知を行うことができたことから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		今後も引き続き、ゼロカーボンシティの実現に向けて、市民の行動変容を促していきます。課題として、定員に満たないイベントがありましたが、民間の広報媒体の活用など新たな周知方法を実施していきます。また、イベント内容を精査していき、より効果的な事業を展開していきます。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号

04010104

事業名		脱炭素先行地域づくり事業				
担当部署		環境衛生部ゼロカーボン推進室				
根拠法令		地球温暖化対策の推進に関する法律、苫小牧市環境基本条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価 A 有効性 公平性 効率性
	予算・決算額(A)	50,466	47,075	695,198		
	(A)の内訳					
	国道支出金	50,466	47,075	695,198		
	地方債					
	その他					
	一般財源					
人件費(B)	11,790	11,790	11,790			
事業費計(A+B)	62,256	58,865	706,988			
事業の目的		本事業は、環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（脱炭素先行地域づくり事業）」を活用し、令和12年度までに勇払市街地エリアでの電力消費に伴うCO ₂ 排出の実質ゼロを目指すことを目的とします。				
事業の内容		SDGs17の目標 7 2030年までに再生可能エネルギーに依存可能な持続可能なエネルギーを確保 11 包摂的で持続可能な都市とコミュニティを構築 13 気候変動に脅かされる持続可能な自然を保護 本計画では、ものづくり産業が集積する西部工業基地内の産業施設において、大規模に太陽光発電を導入して自家消費するとともに、余剰再エネ電力を隣接する勇払市街地エリアへ供給することで、産業部門の脱炭素化が民生部門へ波及するPPAモデルを構築します。また、企業等の需要家が発電量に応じた対価として拠出する地域振興費を原資として、人口減少や高齢化などの地域課題の解決に取り組みます。 令和7年度では、勇払地区の市民を対象として、住宅用省エネ・再エネ機器の設置に国庫支出金を間接交付します。対象機器は、ZEH+（1,000千円／戸）、太陽光発電システム（補助率2／3）、蓄電池（補助率2／3）、高効率給湯器（補助率2／3）とします。また本計画を着実に進めるために、当該分野における専門性を有する者に執行事務を外部委託（補助率10／10）します。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		補助金交付件数	件	-	19	15
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4	3	2	1	
有効性		●				脱炭素先行地域計画に基づき、勇払市街地エリアのCO ₂ 排出量を削減するための取組を進めたため、「4」としました。
効率性		●				本事業を進めるにあたり、専門業者に委託し効率的な業務を実施したことから、「4」としました。
公平性			●			制度上、対象地域は限定されるものの、市内のCO ₂ 排出量の削減に寄与することから、「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		脱炭素先行地域計画の達成のため、今後も計画どおり事業を実施していく必要があります。				事業継続・終了等
						事業終了（令和10年度）
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号

04010105

事業名		再生可能エネルギー適正導入支援マップGIS環境整備事業							
担当部署		環境衛生部ゼロカーボン推進室							
根拠法令		苫小牧市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例							
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額		R7年度決算		R8年度当初予算		項目評価	有効性 公平性 効率性 A
	予算・決算額(A)	1,641		1,590		-			
	(A)の内訳								
	国道支出金	700		700					
	地方債								
	その他								
	一般財源	941		890					
	人件費(B)	7,417		7,417		-			
事業費計(A+B)	9,058		9,007		-				
事業の目的		ゼロカーボンシティ実現に向けて策定した苫小牧市再生可能エネルギー適正導入支援マップにGISを導入し、調整事項や重要種等の情報管理及び運用に係る利便性を図ります。							
事業の内容		本事業は、太陽光発電設備等の新設を計画する再生可能エネルギー発電事業者に対し、再エネ導入に係る各種規制区域や環境保全上配慮すべき区域等の情報を分かりやすく提供するため、地理情報システム（GIS）を導入するものです。 GISを活用することで、土地ごとの位置情報や属性情報を地図上で迅速かつ正確に確認することが可能となり、従来の支援マップでは把握が難しかった詳細な状況確認を行うことができます。 これにより、再エネ発電事業者は、法令等による規制内容や適切な導入エリアを事前に把握しやすくなり、円滑な事業検討につながる事が期待されます。また、本市においても、窓口対応や問い合わせ対応の効率化・負担軽減が図られるなど、行政運営面での効果が見込まれます。							
SDGs17の目標		7 持続可能なエネルギー 13 気候変動に具体的な対策を							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度		
		条例に基づく太陽光発電事業者の事前協議件数		件	-	-	10		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				再エネ発電事業者が規制区域や環境配慮事項等を事前に把握可能となり、適切なエリアへの再エネ導入や円滑な事業推進に繋がったことから、「4」としました。			
効率性		●				GISにより必要な情報を一元的に確認でき、事業者による事前確認が可能となり、窓口対応や問い合わせ対応の効率化が図られたことから、「4」としました。			
公平性			●			規制区域等の情報を広く公開することで、事業者が同一の情報を公平に取得でき、透明性の向上につながったことから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		本事業により整備したGISについては、法令改正や区域変更等に応じた情報の更新・管理を継続的に行う必要がある。また、将来的には市全体で整備予定の統合型GISとの連携・統合を見据え、効率的な運用及び機能の引継ぎを図っていく必要がある。						事業継続・終了等	
								事業終了（令和7年度）	
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 02自然環境保護費

事務事業番号

04010201

事業名		野生鳥獣等生活環境被害対策事業				
担当部署		環境衛生部環境生活課				
根拠法令		鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	15,593	15,192	19,211	有効性 公平性 効率性 A	
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	15,593	15,192	19,211		
人件費(B)	40,570	40,570	40,570			
事業費計(A+B)	56,163	55,762	59,781			
事業の目的		特定外来生物であるアライグマ及び市街地出没対策としてエゾシカを捕獲することで、地域の生態系等の保全を行うとともに、交通事故や生活環境被害、家庭菜園及び農産物への被害を低減します。また、出没が増加傾向にあるヒグマの市街地出没対策として訓練を行い緊急時に備えます。				
事業の内容		【アライグマ】 1 委託による捕獲 前年までの事業で蓄積したデータを参考に、小河川の周辺など捕獲効率の高い地点や農地・市街地等に侵入してくる経路等に罠を設置し、アライグマの捕獲を行いました。 2 罠の貸し出しによる捕獲 家庭菜園や農産物等の被害があった市民及び企業からの要請に基づき、罠を貸し出し、アライグマの捕獲を行いました。 3 捕獲期間と場所の拡大による捕獲 北海道が設定するアライグマ春秋捕獲推進期間における捕獲（3月～6月）を実施しました。 【エゾシカ】 1 委託及び直営捕獲 エゾシカによる生活環境被害対策を目的に令和4年度から市街地周辺におけるエゾシカ捕獲事業を実施しています。令和7年度は捕獲と食肉加工の目的を分けて事業を行い、捕獲頭数と食肉加工の増につながりました。また、北海道が推進するエゾシカー斉捕獲期間（2～3月）に直営で6頭を捕獲しました。 2 その他 エゾシカ対策円卓会議、道路脇の草刈り、エゾシカ関連イベント開催しました。 【ヒグマ】 1 訓練 ヒグマの市街地出没対策として緊急銃猟を想定した訓練を実施しました。 2 捕獲 ヒグマの頭数管理と、ハンターの育成を目的に春季管理捕獲を実施しました。				
SDGs17の目標		11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増やす				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		アライグマ捕獲頭数（委託）	頭	196	202	201
		エゾシカ捕獲頭数（委託）	頭	173	77	236
		春秋管理捕獲	回	-	-	2
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				委託の捕獲事業以外に、アライグマ、エゾシカ共に直営で春季管理捕獲を行ったことにより、一定数の捕獲ができており、生活環境被害や農業、家庭菜園被害の拡大防止に効果が出ていると考えられることから「4」としました。
効率性		●				今期はエゾシカの捕獲目的を分けたことにより捕獲頭数が増加しましたが、今後個体数の増加が懸念される中、本事業を中止した場合の影響は非常に大きいと考えられることから「4」としました。
公平性		●				地域の生態系、生物多様性の保全に資すること及び生活環境被害、農業被害、交通事故等全市的な野生鳥獣問題に対応していることから「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		本事業によりアライグマ及びエゾシカを一定数捕獲することで、生態系等の維持や農業被害及び生活環境被害の低減に繋がることから、本事業の継続が必要と考えます。今後は事業の効率性を高めながら、エゾシカ等野生鳥獣の更なる有効活用についても検討してまいります。また、近年市街地への出没が増加傾向にあるヒグマについては、緊急銃猟に備えた訓練を行うとともに、春秋管理捕獲や、ゾーニング計画に基づく有害捕獲、ドローンによる現地調査や、DNA鑑定調査を行いヒグマの行動圏の把握や緊急対応に備えます。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 02自然環境保護費

事務事業番号

04010202

事業名		生物多様性地域戦略普及啓発事業				
担当部署		環境衛生部環境生活課				
根拠法令		生物多様性基本法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	2,200	1,637	-	有効性 公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,200	1,637			
	人件費(B)	9,251	9,251	-		
	事業費計(A+B)	11,451	10,888	-		
事業の目的		産業と環境が共存する都市の実現を目指すために、生物多様性地域戦略を策定し地域戦略に位置付けた様々な施策を市・市民・企業・団体等が連携協働し取り組むことが重要です。本事業により広く市民や企業を対象に生物多様性地域戦略について周知を図ることで、戦略の実現につなげることを目的とします。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		  1 令和7年7月10日に市民説明会を実施し、また、パブリックコメントを行い広く市民の意見を募集したうえで、令和7年9月議会を経て生物多様性地域戦略を策定しました。   2 令和8年3月22日に、生物多様性普及啓発事業として講演会を実施しました。 3 生物多様性地域戦略にかかる普及啓発の動画を作成しました。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	市民説明会参加人数		人	-	-	14
	パブリックコメント意見件数		件	-	-	78
	講演会参加人数		人	-	-	150
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●				講演会の参加者に、アンケートを実施した結果、講演会に対する満足度は86%と高い評価であったため「4」としました。
	効率性		●			広く市民や企業を対象に生物多様性地域戦略について周知を図る必要があることから、継続的な事業となるため「3」としました。
	公平性	●				講演会は、定員150名のところ、応募総数が407人となり厳正な抽選により開催したため「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		生物多様性地域戦略でめざす将来像を達成するためには、市民・企業・団体などの連携による取組は必要不可欠であり、そのためには生物多様性に関する知識や、将来像とそこに至るまでの課題など、継続的に周知を図ることが必要です。また、戦略をより実効性のあるものとして、関与の仕組作りが必要であり、環境問題に興味を持つ子どもたちの育成にも力を注ぐ必要があることから、新たな事業展開が必要であると考えます。				事業継続・終了等 事業終了（令和7年度）
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

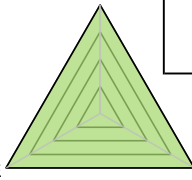
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号

04020101

事業名		こども家庭センター事業（重層事業含）					
担当部署		こども未来部こども家庭支援室					
根拠法令		母子保健法					
予算・決算 （千円）	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	1,933	1,678	2,298	有効性 公平性 効率性  <td rowspan="6">A</td>	A	
	(A)の内訳						
	国道支出金	1,641	1,338	1,830			
	地方債						
	その他						
	一般財源	292	340	468			
人件費(B)	46,194	46,194	46,194				
事業費計(A+B)	48,127	47,872	48,492				
事業の目的		母子保健や育児に関する相談体制を構築し、妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援を実施します。また、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報の提供や相談等により、母子の心身状況や養育環境等を把握するとともに、支援が必要な家庭への適切なサービス提供につなげます。					
事業の内容		1 利用者支援事業（こども家庭センター型）として下記を実施しました。 (1) 妊娠期から子育て期にわたる母子保健、育児に関する相談 (2) 「とまっこファイル」を活用した子育てに関する情報提供 (3) 「とまっこアプリ」を活用した子育ての情報配信、成長記録や予防接種スケジュール管理 (4) 特に支援を要する家庭について、児童福祉機能と連携した相談支援 2 こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）として下記を実施しました。 (1) 家庭訪問 ア 母親の妊娠・出産経過を確認し、産後の母体についての必要な助言、指導 イ EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票）を用いた母親の精神面の状況把握と支援 ウ 新生児・乳児の発育や発達を観察し、必要な助言・指導 エ 生活面や育児面の状況把握と育児不安に対する支援 オ 活用できる社会資源情報や子育て支援情報のリーフレット提供 カ 健診、予防接種、電話相談等について説明 (2) 継続支援ケースの早期発見と支援 (3) 訪問者の研修 専門知識・技術を図るため、赤ちゃん訪問報告学習会とケース対応会議を定期的に関催					
SDGs17の目標							
実施結果 （活動指標）		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		相談件数（妊娠・出産・子育て）	件	632	571	705	
		ケアプラン作成数	件	449	457	1,065	
		こんにちは赤ちゃん事業 訪問実施率	%	95.9	95.5	95.6	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				妊娠期・子育て期における様々な相談が寄せられており、ケアプラン作成を強化して対応しました。児童福祉機能と連携して相談支援を実施することができ、切れ目のない支援に寄与していることから「4」としました。	
効率性		●				とまっこアプリにおいて、他課の情報も含めた妊娠・出産・子育てに関する情報を広く配信、また、情報配信の対象月齢を絞るなど効率的な配信も行うことができたことから「4」としました。	
公平性		●				母子健康手帳交付時には必ず面談し、丁寧に聞き取りを行いながら相談に応じ、こんにちは赤ちゃん事業や児童福祉機能での支援を含めた継続的な支援につなげることができたことから「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		今後安心して子育てができるよう、随時相談に応じ支援していくとともに、特に支援を要する家庭を把握した場合は、児童福祉機能と連携した相談支援を継続します。					事業継続・終了等
		参考：苫小牧市出生数の推移 [令和5年] 897人 [令和6年] 779人 [令和7年] 809人					事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

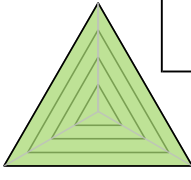
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号

04020102

事業名		新生児聴覚検査助成事業				
担当部署		こども未来部こども家庭支援室				
根拠法令		母子保健法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	2,460	2,087	2,094	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,460	2,087	2,094		
	人件費(B)	2,583	2,583	2,583		
	事業費計(A+B)	5,043	4,670	4,677		
事業の目的		聴覚障害の早期発見・早期療育が図られるよう、新生児聴覚検査に係る費用について一部公費負担を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		 新生児聴覚検査に係る初回検査の費用を一部公費負担（上限3,000円）しました。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	新生児聴覚検査費用助成件数		件	809	691	686
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				新生児期に検査を受診することで、早期発見・早期療育・早期支援につながることから「4」としました。
効率性		●				令和7年度は、再検査34名のうち、2名の難聴がみつき、早期発見・支援につなげることができたことから「4」としました。
公平性		●				全ての新生児が対象であることから「4」としました。なお、聴覚検査受診票の交付時に、検査の必要性を周知しています。
事業の課題 今後の方向性		一定の成果を得られていますが、周知の徹底を図り確実な検査の実施につなげていきます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

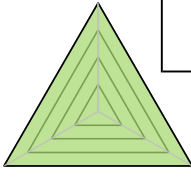
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号

04020103

事業名		苫小牧看護専門学校建設費補助					
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室医療介護連携課					
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	10,256	10,255	-		A	
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	10,256	10,255			
	人件費(B)	148	148	-			
事業費計(A+B)	10,404	10,403	-				
事業の目的		平成17年に校舎を建て替えた苫小牧看護専門学校の建設費を補助することで、より専門的かつ高度な教育環境を整備し、地域で看護の専門職の育成を図ります。					
事業の内容							
SDGs17の目標							
		苫小牧看護専門学校の建設費を補助しました。 ※建設費補助総額 平成18年度～令和7年度 242,597千円					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		苫小牧看護専門学校建設費補助金	千円	10,651	10,453	10,255	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●					充実した施設での看護職員養成の場を確保できているため、「4」としました。
効率性		●					高度な教育環境にて、地域で看護の専門職の育成を図っているため、「4」としました。
公平性		●					看護職員養成の場として広く利用されるため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性							事業継続・終了等
							事業終了（令和7年度）
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

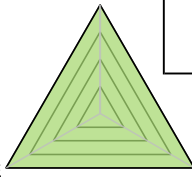
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号

04020104

事業名		妊産婦支援事業				
担当部署		こども未来部こども家庭支援室				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	16,339	14,578	30,934	有効性 公平性 効率性  <td rowspan="6">A</td>	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	10,486	9,365	20,495		
	地方債					
	その他			10,000		
	一般財源	5,853	5,213	439		
人件費(B)	3,700	3,700	3,700			
事業費計(A+B)	20,039	18,278	34,634			
事業の目的		妊娠・出産・子育て期を切れ目なく支援するため、産婦健康診査や産後ケアを実施し、母子の心身状況を把握するとともに、支援が必要な家庭への適切なサービス提供につなげます。				
事業の内容		SDGs17の目標  1 産前・産後サポート事業 妊娠・出産・子育て期における地域のアドバイザーを養成し、悩みの解消や仲間作りのきっかけづくりを行います。多胎家庭のもとへ育児サポーターを派遣し、外出時の補助や、日常の育児に関する介助を行いました。 (1) アドバイザー養成講座開催 (2) アドバイザーによる支援「子育て見守り応援隊」（妊婦と産後1年以内の産婦） (3) 「子育てサロンOasis」（妊婦と産後3か月から産後7か月未満の産婦と乳児） (4) 多胎産後サポート事業 2 産後ケア事業（対象：産後1年以内の産婦と生後1年以内の乳児） 産後に支援を必要とするすべての母子に対して、助産師等が訪問もしくは、母子で助産院に来院し心身のケアや育児支援を行いました。 令和6年8月からは通所型ロング（対象：生後4か月未満）を開始しました。 3 産婦健康診査事業（対象：全産婦） 対象者1人あたり、産後2週間及び1か月の最大2回分の産婦健康診査にかかる費用（1回あたり上限5,000円）を助成しました。受診結果がハイリスクと判定された場合、委託医療機関から連絡票を受領し、保健師による切れ目ない支援へつなげました。 4 低所得妊婦に対する初回産科受診料支援事業 市民税非課税世帯等低所得の妊婦について、経済的負担の軽減を図るとともに、状況を継続的に把握し必要な支援につなげるため、初回の産科受診料を助成しました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		産後ケア事業延利用人数	人	812	787	1,005
		産婦健康診査費用助成件数	件	824	870	1,096
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				産婦健康診査事業を実施することで、医療機関との連携をスムーズに図ることができました。精神面で不安定な産婦に早期に介入でき、産後ケア事業等の困りごとに寄り添った支援につなげることができたことから「4」としました。
効率性		●				産婦健康診査等で医療機関との連携を行い、母の精神面の変化を観察しながら、訪問や電話で支援を実施することができました。また、産後ケア事業者と連携して母子の状況を共有して支援を実施できたことから「4」としました。
公平性		●				母子健康手帳の交付時に、必ず産前・産後サポート事業や産婦健康診査、産後ケア事業についての丁寧な説明を行っています。赤ちゃん訪問でも産後ケア事業の紹介を行っていることから「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		産後ケア事業は、利用者の利便性を考慮し、令和7年度から事前申請を不要としました。利用状況の変化をみながら、事業の周知や事業者との連携を継続していきます。また、令和8年度より「宿泊型」を開始し、休息や授乳指導・育児手技の習得等、産婦のニーズに対応していきます。 産婦健康診査は、産後2週間健診により、支援が必要な産婦へより早期に介入することができ、支援へつながっています。今後も医療機関との連携を密にしながら、必要な方への早期介入・支援を実施していきます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号

04020105

事業名		特定不妊・不育症等治療助成事業				
担当部署		こども未来部こども家庭支援室				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	5,580	5,258	4,878	有効性 公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	1,314	1,185	1,114		
	地方債					
	その他	3,800	3,861	3,000		
	一般財源	466	212	764		
人件費(B)	3,486	3,486	3,486			
事業費計(A+B)	9,066	8,744	8,364			
事業の目的		子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じて適切な不妊治療を開始できるよう、不妊検査に係る費用を一部助成し、不妊原因の早期発見につなげます。 不妊治療及び不育症に係る検査・治療に対し助成することで、子どもを望む夫婦の経済的負担軽減を図ります。				
事業の内容		【コウノトリ検査費（早期不妊検査）助成】 保険医療機関にて行った不妊検査に要した費用について、夫婦1組につき3万円を上限に助成しました。 【不育症検査・治療費助成】 不育症の検査・治療にかかった費用から、北海道が実施している不育症治療費助成の額を引いた額に対し、5万円を上限に費用を助成しました。 【先進不妊治療費助成】 医療保険適用の不妊治療と併用して実施した先進不妊治療に係る治療費と交通費の一部を助成しました。治療費は不妊治療でかかった費用（最大5万円）から、7割を上限に助成しました。交通費は実費（距離ごとに上限有）の3分の2の費用を助成しました。 ※治療費分の助成額の最大値は3万5千円				
SDGs17の目標		3 持続可能な開発目標				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		不妊検査費助成件数	件	84	76	98
		不育症治療費助成件数	件	1	0	1
		先進不妊治療費助成件数	件	14	58	76
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				検査等に要する費用を助成することで、不妊や不育の原因の早期発見につなげることができ、必要に応じて適切な治療を開始できたことから「4」としました。
効率性		●				手続きに時間を要することなく、より少ない人工で効果が得られていることから「4」としました。
公平性		●				対象者は申請を行うことで補助金の交付が受けられることから「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		今後も、子どもを望む夫婦が早期に検査を受けるきっかけづくりとして事業を推進していきます。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号

04020106

事業名		妊婦のための支援給付事業（重層事業含）					
担当部署		こども未来部こども家庭支援室					
根拠法令		子ども・子育て支援法、児童福祉法					
予算・決算 （千円）	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	85,931	85,758	84,307		B	
	(A)の内訳	国道支出金	85,695	83,065			84,229
		地方債					
		その他					
		一般財源	236	2,693			78
	人件費(B)	9,310	9,310	9,310			
事業費計(A+B)	95,241	95,068	93,617				
事業の目的		妊娠から出産、子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐため、伴走した相談支援の充実を図るとともに経済的な支援を一体的に実施します。					
事業の内容		SDGs17の目標 【伴走型相談支援策】 妊娠届出時からすべての妊婦・子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しをたてるための面談等を通じて必要な支援等へつなげました。 【経済的支援策】 妊娠届出後及び妊娠8か月以降の2回において妊婦支援給付金5万円を給付しました。 (1) 1回目の給付：妊娠届出後に5万円給付 (2) 2回目の給付：妊娠8か月以降に5万円給付					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		1回目給付件数	件	-	-	820	
		2回目給付件数	件	-	-	880	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				出産・育児等の見通しをたてるための面談などや経済的支援を実施することで、安心して出産・子育てができる環境を整備することができたことから「4」としました。	
効率性				●		すべての妊婦・子育て家庭への面談やアンケートに加え、妊婦支援給付金の通知・申請・現金給付を都度行う必要があることから「2」としました。	
公平性		●				すべての妊婦を対象に実施していることから「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		引き続き、妊産婦の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりを推進します。					
		事業継続・終了等					
		事業継続					
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号

04020107

事業名		骨髄ドナー助成事業					
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室健康づくり課					
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	500	280	500	有効性 公平性 効率性	B	
	(A)の内訳						
	国道支出金	250	140	250			
	地方債						
	その他						
	一般財源	250	140	250			
人件費(B)	742	742	742				
事業費計(A+B)	1,242	1,022	1,242				
事業の目的		ドナーの経済的・時間的負担を軽減することにより、骨髄移植の推進を図ります。					
事業の内容		【骨髄ドナー助成制度】 1 助成対象者 下記の(1)又は(2) (1) ドナー向け助成金 骨髄等の提供に最終同意をされた方で休暇制度を受けられないドナー (2) 事業所向け助成金 骨髄等の提供に最終同意をしたドナーへ休暇を付与した事業所 2 助成額 骨髄等の提供に要した日数（通院・入院）又は休暇日数×1万円（最大10万円）					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		助成件数	件	-	1	3	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				助成を通じ、骨髄移植の推進に寄与したことから「4」としました。	
効率性			●			必要最低限の人員で事業を実施していることから「3」としました。	
公平性			●			ドナー本人だけでなく、ドナーが就業する事業所も助成対象としていることから「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性		骨髄移植の推進に向け、制度の周知を図ります。				事業継続・終了等	
						事業継続	
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

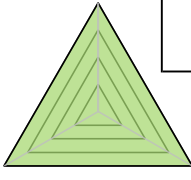
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号

04020108

事業名		健康管理システム事業				
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室健康づくり課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	3,452	2,162	14,028		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	3,452	2,162	14,028		
人件費(B)	742	742	742			
事業費計(A+B)	4,194	2,904	14,770			
事業の目的		健康に関するデータの管理を通して、保健活動を効果的に推進し、地域の健康増進につなげます。				
事業の内容		SDGs17の目標  健康管理システムの利用料金及びガバメントクラウドの運用管理に係る費用 1 健康かるてパッケージ利用料 2 ガバメントクラウド利用料				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		利用料支払	回	-	-	3
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				健康に関するデータを管理する上で、システム運用は不可欠なため「4」としました。
効率性		●				システムにより効率的に進めることができるため「4」としました。
公平性		●				全市民を対象とするため「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		移行したシステムの運用について検証し、効率的なシステムの運用を行う。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

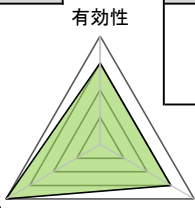
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号

04020109

事業名		地域医療情報連携ネットワーク事業								
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室医療介護連携課								
根拠法令										
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価				
	予算・決算額(A)	5,940	5,083	-	有効性 公平性 効率性 	B				
	(A)の内訳									
	国道支出金	2,300	2,300							
	地方債									
	その他									
	一般財源	3,640	2,783							
	人件費(B)	3,709	3,709	-						
事業費計(A+B)	9,649	8,792	-							
事業の目的		地域医療情報連携ネットワークを構築し、医療や介護、福祉、救急、防災など多様なサービスが連携する情報基盤を整備し、医療系サービスの向上を図ります。								
事業の内容										
SDGs17の目標										
		令和6年度策定の苫小牧市医療DX構想で掲げる、将来的に減少する可能性が高い医療系資源におけるサービスの維持の実現に向け、医療機関をはじめとする関係者のDXに対する理解を深め、ネットワーク構築に対する機運醸成を図るため、専門的知見を有する委託業者の支援を得ながら、医療DX導入に関するアンケート調査や会議・セミナー等を実施しました。								
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度				
		機運醸成を図るための会議・セミナー等の開催	回	-	-	6				
項目評価		高 → 低	評価の理由							
		4	3	2	1					
						関係者との意見交換等を通じ課題を共有し、機運醸成につなげました。				
						他自治体での支援実績のある事業者の助言を得ながら事業を実施しました。				
						限りある医療系資源の有効活用によるサービスの維持は、地域の将来を見据えた必要な施策です。				
事業の課題 今後の方向性		令和8年度からは「地域医療・介護連携推進事業」（所管：健康福祉部保健医療介護推進室医療介護連携課）として専門的知見を有する事業者の助言を得ながら、地域医療政策の策定に着手します。					事業継続・終了等			
							事業終了（令和7年度）			
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課								

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号

04020110

事業名		出産・子育て応援事業						
担当部署		こども未来部こども家庭支援室						
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)	6,850	6,850	-	有効性 公平性 効率性 B			
	(A)の内訳							
	国道支出金	5,707	5,708					
	地方債							
	その他							
	一般財源	1,143	1,142					
人件費(B)	1,483	1,483	-					
事業費計(A+B)	8,333	8,333	-					
事業の目的		妊娠から出産、子育て期まで一貫して身近に寄り添い、様々なニーズに即した必要な支援につなぐため、伴走した相談支援の充実を図るとともに経済的な支援を一体的に実施します。						
事業の内容								
SDGs17の目標								
3 すべての人に健康と福祉を		【経済的支援策】 出生した子の養育者の方を対象に面談等を行い、出産時5万円を給付しました。 ※令和7年度からは妊婦のための支援給付事業に移行したため、令和6年度に出生した子に対する子育て応援ギフトを給付しました。 ・子育て応援ギフト：乳児家庭全戸訪問（赤ちゃん訪問）後に5万円給付						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		
		出産応援ギフト給付件数	件	1,194	826	-		
		子育て応援ギフト給付件数	件	1,098	747	137		
項目評価		高 → 低	評価の理由					
		4	3	2	1			
		有効性	●				育児等の見通しをたてるための面談などや経済的支援を実施することで、安心して子育てができる環境を整備することができたことから「4」としました。	
		効率性			●		すべての子育てで家庭への面談に加え、子育て応援ギフトの通知・申請・現金給付を都度行う必要があることから「2」としました。	
		公平性	●				すべての子育てで家庭を対象に実施したことから「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		妊婦のための支援給付が開始したことに伴い、出産・子育て応援事業は終了しました。今後は、妊婦のための支援給付事業として引き続き、妊婦の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりを推進します。					事業継続・終了等	
							事業終了（令和7年度）	
特記事項		・ 令和7年度から「妊婦のための支援給付事業」に事業を移行し、令和8年度担当部署はこども未来部こども家庭支援室母子保健担当となります。 ・ 令和7年度予算及び決算額については、出産・子育て応援事業費【繰越明許】を含んでいます。 ・ 令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号

04020201

事業名		予防接種健康被害救済制度事業					
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室健康づくり課					
根拠法令		予防接種法					
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	3,725	3,124	5,247	有効性 公平性 効率性	A	
	(A)の内訳						
	国道支出金	3,031	2,000	4,396			
	地方債						
	その他						
	一般財源	694	1,124	851			
人件費(B)	3,709	3,709	3,709				
事業費計(A+B)	7,434	6,833	8,956				
事業の目的		予防接種法に基づく予防接種に起因する健康被害の認定を受けた方に対し救済を行います。					
事業の内容							
SDGs17の目標							
3 すべての人に健康と福祉を		予防接種法に基づく予防接種に起因する健康被害の認定を受けた方に対し給付金を支給しました。					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
		有効性	●				予防接種の副反応による健康被害は極めて稀ではあるものの不可避免的に生じるため、「4」としました。
		効率性	●				健康被害の認定を受けた方を対象に、認定内容に応じ迅速に給付を行いました。
		公平性	●				健康被害の認定を受けた方を対象に、認定内容に応じ迅速に給付を行いました。
事業の課題 今後の方向性		健康被害の認定を受けた方の迅速な救済に向けて事務手続を実施します。					事業継続・終了等
							事業継続
特記事項		・健康被害の救済に係る事業であることに鑑み、活動指標は設定しません。 ・令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号

04020301

事業名		がん検診推進事業					
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室健康づくり課					
根拠法令		健康増進法					
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	5,709	4,719	5,670	有効性 公平性 効率性 A		
	(A)の内訳						
	国道支出金	1,591	1,642	1,592			
	地方債						
	その他						
	一般財源	4,118	3,077	4,078			
	人件費(B)	4,817	4,817	4,817			
事業費計(A+B)	10,526	9,536	10,487				
事業の目的		国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」に基づき、がんに対する正しい知識、健康意識の向上を図り、がんの早期発見のため、がん検診の受診を促進します。					
事業の内容							
SDGs17の目標		がん検診受診率を向上させるために、特定の年齢に達した方々に対し、無料クーポン券の発送によるがん検診受診のきっかけづくりや受診勧奨を実施しました。					
3 すべての人に健康と福祉を		1 無料クーポン券発送 (1) 子宮頸がん検診 20歳の方（4月1日時点） (2) 乳がん検診 40歳の方（4月1日時点） 2 受診勧奨及び再勧奨 (1) 子宮頸がん及び乳がん検診クーポン券対象の未受診者等へ個別に受診勧奨 (2) 胃がん・肺がん・大腸がん検診は対象を絞って個別に受診勧奨					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		クーポン券発送件数（子宮がん・乳がん合計）	件	1,689	1,633	1,623	
		がん検診受診勧奨及び再勧奨回数	回	5	5	5	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
		有効性	●				がん検診の受診により、がんの早期発見、早期治療につながることから「4」としました。
		効率性		●			がん検診の有効性や費用の助成があることをわかりやすく記載した個別はがきによる勧奨を行った結果約17%が受診行動につながったため、「3」としました。
		公平性	●				対象者全員に無料クーポン券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		今後も勧奨方法について検討を進め、受診率の向上を目指します。					事業継続・終了等
							事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

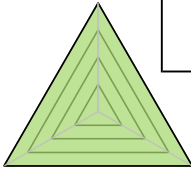
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号

04020302

事業名		肝炎ウイルス検診推進事業				
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室健康づくり課				
根拠法令		健康増進法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	7,568	6,177	7,194	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	5,638	4,515	5,059		
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,930	1,662	2,135		
	人件費(B)	4,450	4,450	4,450		
	事業費計(A+B)	12,018	10,627	11,644		
事業の目的		肝炎ウイルスについての正しい知識を普及するとともに、肝炎ウイルス検診の受診を促すことにより、肝炎による健康障がい回避、進行の遅延等を図ります。				
事業の内容		特定の年齢に達した方々へ無料クーポン券を発送し、肝炎ウイルス検診の受診勧奨を実施しました。 【無料クーポン券対象者】 過去に肝炎ウイルス検診を受診したことのない、40・45・50・55・60・65歳（4月1日時点）の方 ※B型、C型のいずれか一方の検診歴のある方は、検診歴のないウイルス型であれば受診可能				
SDGs17の目標						
実施結果 (活動指標)	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
	無料クーポン券発送件数	件	12,249	12,149	11,782	
項目評価	高 → 低	評価の理由				
	4 3 2 1					
	有効性	●				肝炎ウイルス検診の受診により、疾病の早期発見、早期治療につながることから、「4」としました。
	効率性	●				過去に受診したことのない、40・45・50・55・60・65歳の方を対象に案内しているため、「4」としました。
	公平性	●				対象者全員に無料クーポン券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		無料クーポン券の発送により、肝炎ウイルス検診を受診する契機となり、引き続き啓発を図っていきます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

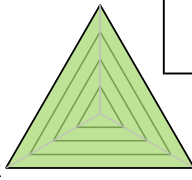
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号

04020303

事業名		こころの健康づくり事業				
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室健康づくり課				
根拠法令		自殺対策基本法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,589	1,410	2,028	有効性 公平性 効率性  <td rowspan="6">A</td>	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	945	856	1,272		
	地方債					
	その他					
	一般財源	644	554	756		
人件費(B)	7,417	7,417	7,417			
事業費計(A+B)	9,006	8,827	9,445			
事業の目的		市民一人ひとりが支えあい、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、相談・普及啓発・人材育成をはじめとした、自殺対策を推進します。				
事業の内容		下記の取組を実施しました。 1 ゲートキーパー養成講座 身近な人の自殺のサインに気づき、相談に応じたり、関係機関へつなげる人材を育成 2 メンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」の活用 市ホームページのメンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」等を活用し、命とこころの健康を守る取組を強化 3 自殺予防パネル展の実施 パネル展示による普及啓発 4 相談事業の実施 こころの悩みに関する相談に応じ、必要に応じ専門職につなぎ連携し対応 5 講演会の実施（一般市民・若年） 市民が自身や身の回りの人のこころの不調に気づきセルフケアできるよう、正しい知識を普及啓発 6 自殺実務者ネットワーク会議 自殺対策に携わる実務者が支援状況や課題等について情報共有し、支援体制を向上 7 専門職人材育成研修 こころの健康に携わる専門職のスキルアップ				
SDGs17の目標						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		ゲートキーパー養成講座	回	6	6	5
		「こころの体温計」アクセス数	回	30,236	31,720	29,405
		こころの相談日	回	12	12	12
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				苦小牧市の自殺者は毎年増減を繰り返しており、自殺予防に携わる人材育成、自殺予防に関する知識の普及、こころの相談に対する相談窓口等は必要であるため、「4」としました。
効率性		●				メンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」を活用により、ストレスを感じる方が自身のタイミングでストレス度を確認できるため、「4」としました。
公平性		●				苦小牧市ホームページや「広報とまこまい」により、こころの相談窓口や、自殺対策に携わる人材育成講習等の周知を行っているため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		今後も関係機関と連携を図りながら、こころに不安を抱える方への相談体制の拡充を図っていきます。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		・若年層対策に係る事業はこども未来部こども家庭支援室母子保健担当が所管 ・令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

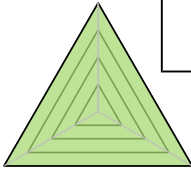
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号

04020304

事業名		中学生へのピロリ菌検査・除菌支援事業				
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室健康づくり課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	2,402	1,802	2,526	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,402	1,802	2,526		
	人件費(B)	1,483	1,483	1,483		
	事業費計(A+B)	3,885	3,285	4,009		
事業の目的		胃がん、慢性胃炎及び胃・十二指腸潰瘍等の主な原因となるピロリ菌について、若年期の内に検査・除菌することにより、将来的なそれらの病気の予防や子どもへの感染を予防できることから、中学2年生を対象に行います。				
事業の内容						
SDGs17の目標		下記の内容で実施しました。				
		1 対象者				
		吉小牧市内に居住する中学2年生で保護者の同意があった者				
		2 検査等の内容				
		(1) 尿中抗体検査（一次検査 ※学校保健安全法による尿検査と同時に実施）				
		(2) 尿素呼気試験（二次検査 ※一次検査陽性者が対象）				
		(3) 除菌治療（投薬治療及び除菌判定 ※二次検査陽性者が対象）				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		一次検査受検率	%	88.9	87.4	88.7
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				各検査いずれも高い受検率となっていることから、「4」としました。 ※一次検査受検率88.7%、二次検査受検率80.5%
効率性		●				学校保健安全法による尿検査と同時に一次検査を行うことにより、効率的に実施できているため、「4」としました。
公平性		●				保護者から同意が得られた全ての中学2年生を対象としているため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		将来的な胃がん、慢性胃炎等の予防や子どもへの感染予防の観点から、学校保健安全法による尿検査との同時実施を継続します。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

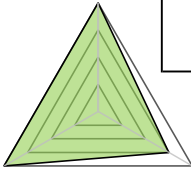
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号

04020305

事業名		歯周病検診事業				
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室健康づくり課				
根拠法令		健康増進法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	6,101	5,316	5,972	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	3,524	3,417	3,123		
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,577	1,899	2,849		
	人件費(B)	2,967	2,967	2,967		
	事業費計(A+B)	9,068	8,283	8,939		
事業の目的		成人期は歯周病に罹患する人が増加する時期であることから、歯周病の予防と早期発見を推進し、高齢期において快適な生活が送れるよう支援することを目的として、健康増進法に基づく歯周病検診を実施します。				
事業の内容						
SDGs17の目標		3 すべての人に健康と福祉を 特定の年齢に達した方に対し、歯周病検診受診券を発送し、歯周病検診の受診勧奨を実施しました。 - 受診券対象者 20・30・40・50・60・70歳の方 - 検診費用 540円（満70歳の方、市民税非課税世帯、生活保護世帯の方は無料） - 有効期限 対象年齢の誕生日を迎えてから、次の誕生日の前日まで				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	受診券発送件数		件	9,517	12,092	11,700
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			令和7年度の受診者のうち、41.5%が要精密検査となり、このうち79.4%の方が精密検査を受診につながっているため、「4」としました。	
	効率性		●		6月と9月の2回に分けて受診券を発送し、受診勧奨を図っているため「3」としました。	
	公平性	●			対象者全員に受診券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		歯周病は、歯の喪失をもたらす疾患であり、成人期における有病率等も高く、全身疾患や生活習慣との関係が注目されていることから、今後も予防対策を推進していきます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号

04020306

事業名		夜間・休日急病センター開設経費						
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室医療介護連携課						
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)	9,071	9,064	9,064	有効性 公平性 効率性 A			
	(A)の内訳							
	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	9,071	9,064	9,064				
人件費(B)	371	371	371					
事業費計(A+B)	9,442	9,435	9,435					
事業の目的		平成20年度に建設した夜間・休日急病センターについて、家賃等相当分として建設費の元利償還金分を支払います。						
事業の内容								
SDGs17の目標								
3 すべての人に健康と福祉を		夜間・休日急病センターの建設費元利償還金分を支払いました。 (建設費元利償還金総額 平成21年度～令和15年度 191,886千円)						
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R5年度	R6年度	R7年度	
	夜間・休日急病センター開設経費補助金			千円	9,064	9,064	9,064	
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●				夜間・休日における急病患者の医療確保に寄与しています。		
	効率性	●				少ない人工で必要な効果が得られています。		
	公平性	●				一次救急医療の拠点として広く一般市民が利用できる施設です。		
	事業の課題 今後の方向性		休日当番医とともに地域における救急医療体制の整備を図り、引き続き、急病患者の医療体制を確保していきます。				事業継続・終了等	
							事業終了（令和15年度）	
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

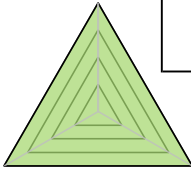
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号

04020307

事業名		苫小牧市保健センター建設費補助								
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室健康づくり課								
根拠法令										
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価				
	予算・決算額(A)	40,104	40,103	40,104		A				
	(A)の内訳									
	国道支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	40,104	40,103	40,104						
人件費(B)	371	371	371							
事業費計(A+B)	40,475	40,474	40,475							
事業の目的		平成26年度に建設した苫小牧市保健センターについて、家賃相当分として建設費の元利償還金分を支払います。								
事業の内容		苫小牧市保健センターの建設費の元利償還金分を補助しました。 ※建設費元利償還金総額 平成27年度～令和26年度 1,203,161千円								
SDGs17の目標										
										
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度				
		苫小牧市保健センター建設費補助金	千円	40,103	40,103	40,103				
項目評価		高 → 低 <table border="1"> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> 評価の理由					4	3	2	1
4	3	2	1							
有効性		保健センターにおける各種健康診査等の実施により、市民の健康保持及び増進に寄与しているため、「4」としました。								
効率性		必要最小限の人工で必要な効果が得られているため、「4」としました。								
公平性		市民の健康保持及び増進を図るために設置した施設であり、広く市民が利用できるため、「4」としました。								
事業の課題 今後の方向性		各種健康診査の実施等、市民の健康保持及び健康増進につながる取組を今後も行っていきます。				事業継続・終了等 事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課								

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号

04020308

事業名		就学前フッ化物洗口支援事業					
担当部署		こども未来部こども家庭支援室					
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	286	243	287	有効性 公平性 効率性	A	
	(A)の内訳						
	国道支出金	101	108	85			
	地方債						
	その他						
	一般財源	185	135	202			
	人件費(B)	1,483	1,483	1,483			
	事業費計(A+B)	1,769	1,726	1,770			
事業の目的		幼児（就学前）のフッ化物使用により、丈夫な歯質が作られ、就学前後に生え始める永久歯に効果が得られることから、虫歯予防のためのフッ化物洗口事業を支援します。					
事業の内容							
SDGs17の目標							
3 持続可能な消費と生産		年長児を対象としたフッ化物洗口を実施する市内の保育・幼児施設に対し、使用する薬剤を提供し継続的な実施を支援しました。 フッ化物洗口の実施内容 (1) フッ化物薬剤（オラブリス）を水に溶かして0.1%の洗口液を準備する。 (2) 洗口液5mlをコップへ注ぎ、1分間うがいを行う。 (3) 上記を週2回実施する。					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		実施園	件	26	27	28	
		実施園児数	人	514	639	624	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
		有効性	●				就学前の幼児は、永久歯が生え始める時期で、この時期からフッ化物洗口を行うことにより丈夫な歯質が作られ、虫歯予防のひとつとして有効であることから「4」としました。
		効率性	●				フッ化物洗口は、少ない費用で実施できることから「4」としました。
		公平性		●			1園が新規にフッ化物洗口を開始した一方、未実施の園もあることから「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		今後も未実施の園へフッ化物洗口の効果を啓蒙し、実施園の拡大を目指します。					事業継続・終了等
							事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号

04020309

事業名		健康都市推進事業				
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室健康づくり課				
根拠法令		健康増進法、北海道受動喫煙防止条例、苫小牧市受動喫煙防止条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,900	1,505	2,467	有効性 公平性 効率性 B	
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,900	1,505	2,467		
人件費(B)	742	742	742			
事業費計(A+B)	2,642	2,247	3,209			
事業の目的		喫煙が及ぼす健康への影響について、正しい知識の普及啓発を図るとともに、民間施設における分煙設備などの整備に対する助成を行い、受動喫煙のないまちを目指すほか、市民の健康増進に資する事業を展開します。				
事業の内容		以下の事業を行いました。 【受動喫煙防止対策助成金】 民間施設における分煙設備などの整備に対し、国の受動喫煙防止対策助成金に上乗せし、助成金を交付 【飲食店全面禁煙化補助金】 店舗を全面禁煙化する既存特定飲食提供施設に対し、店舗改装等に要する費用の一部を補助 【ホワイテ500・ブライテ500・ネクストブライテ1000認定企業表彰】 経済産業省所管の日本健康会議が認定している、健康経営優良法人ホワイテ500・ブライテ500・ネクストブライテ1000を取得した市内の企業へ敬意を表し表彰 【健考・健幸DAY2025】 ・イオンモール苫小牧にて、市民の健康意識向上を目的とした体験型健康イベントを開催 ・「スポーツフェスティバル2025」にて、肥満をテーマに3つの体験ブースを設置 【健幸アンバサダー事業】 健康に関する広報や普及啓発活動を行いました。				
SDGs17の目標		3 持続可能な健康と福祉を				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		苫小牧市空気もおいしい施設認定件数	件	1	25	3
		健康経営優良法人表彰数	社	1	2	5
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性			●			各種助成金の申請はありませんでしたが、苫小牧市空気もおいしい施設の認定数は増加しており、本市の受動喫煙対策は進んでいることから、「3」としました。
効率性			●			苫小牧商工会議所を通して市内の企業に健康経営及び苫小牧市空気もおいしい施設のリーフレットを配付し、広く啓発活動を行うことができたため、「3」としました。
公平性		●				健康経営の推進や受動喫煙の防止に向けた取組は、全ての市民、事業者の健康の保持・増進につながることから「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		改正健康増進法において、受動喫煙防止に向けた取組の推進は地方公共団体の責務であり、引き続き効果的かつ効率的に事業推進を図ります。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号

04020310

事業名		健康支援・医療施設機器整備事業					
担当部署		健康福祉部保健医療介護推進室医療介護連携課　こども未来部こども家庭支援室					
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区　分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	3,008	3,008	-	有効性 公平性 効率性	A	
	(A)の内訳						
	国道支出金	900	900				
	地方債						
	その他						
	一般財源	2,108	2,108				
人件費(B)	223	223	-				
事業費計(A+B)	3,231	3,231	-				
事業の目的		施設の利用環境を整備し、市民の健康保持及び増進を図ります。					
事業の内容							
SDGs17の目標							
3 すべての人に健康と福祉を		再編交付金を活用し、健康支援センターで使用する身長体重計を整備しました。 また、指定管理施設のエアコンについて、故障対応として緊急修繕を実施しました。 ○再編交付金活用事業　940千円 （健康支援センターの身長体重計更新） ○エアコン修繕　2,068千円 （呼吸器内科エアコン修繕1,111千円、急病センターエアコン修繕957千円）					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		再編交付金活用事業	千円	3,728	9,064	940	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4　3　2　1					
有効性		●					機器更新や修繕を実施し、各施設の利用環境を整備することにより、市民の健康保持及び増進に寄与しています。
効率性		●					迅速に利用環境を整備することができました。
公平性		●					いずれの施設も、広く市民が利用できる施設です。
事業の課題 今後の方向性		再編交付金を活用した事業は時限的な事業となりますが、今後も財源を確保しながら必要な整備を実施します。					事業継続・終了等
							事業終了（令和7年度）
特記事項		令和7年度担当部署は健康こども部健康支援課					

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号

04020401

事業名		公衆浴場支援事業					
担当部署		環境衛生部環境生活課					
根拠法令		苫小牧市公衆浴場助成要綱					
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	1,500	1,097	1,000	有効性 公平性 効率性	A	
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	1,500	1,097			1,000
	人件費(B)	742	742	742			
事業費計(A+B)	2,242	1,839	1,742				
事業の目的		公衆浴場法第2条第1項による許可を受けたものであって物価統制令第4条により入浴料金が定められている公衆浴場に対し補助（助成）金を交付することにより、公衆浴場経営の安定を図るとともに、高齢者等が利用しやすい公衆浴場づくりを推進し、市民の保健衛生の向上に資することを目的とします。					
事業の内容							
SDGs17の目標							
3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを		1 公衆浴場設備整備助成事業について 設備整備は配管更新に係る助成金を交付しました。なお、助成先については、前年度の予算概算要求前に市内公衆浴場に対して意向調査を実施した上で決定しています。 2 公衆浴場確保対策事業について 入浴率が低い浴場には助成金を交付しました。					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		助成件数	件	3	3	3	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				公衆浴場の経営が困難な状況において、改修費用の捻出が厳しいことから、当該助成事業の有効性は高いものと考え「4」としました。	
効率性			●			可能な限り早い段階で浴場経営者への聞き取りを実施し、漏れがなく効果的な事業となるよう意識しており「3」としました。	
公平性		●				市民の生活衛生の向上に資することから「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		市内の公衆浴場は、施設の老朽化、近年の物価や燃料費高騰等の影響などにより、依然として厳しい経営状況にあります。公衆浴場は、市民の生活衛生の向上、高齢者等の安全・安心な生活環境の確保に欠かせない施設であり、本事業を継続する必要があると考えています。				事業継続・終了等	
						事業継続	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

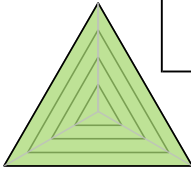
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号

04020402

事業名		霊葬場整備事業				
担当部署		環境衛生部環境生活課				
根拠法令		墓地、埋葬等に関する法律、苫小牧市高丘霊葬場条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	34,951	34,504	247,437	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債			184,800		
	その他	33,000	33,000	60,000		
	一般財源	1,951	1,504	2,637		
	人件費(B)	1,483	1,483	1,483		
	事業費計(A+B)	36,434	35,987	248,920		
事業の目的		高丘霊葬場は、人生終焉の場として市民生活に不可欠な施設であります。平成9年度の供用開始から28年が経過し火葬炉設備等の劣化が著しいことから、火葬炉設備の計画的な点検や設備整備を行い、安定的に施設を運営します。				
事業の内容						
SDGs17の目標		11 住み続けられるまちづくりを 1 霊葬場整備事業について 安定的な事業を継続するため、次の設備の整備・交換・修繕を行いました。なお、整備箇所については、前年度の点検結果に基づき、緊急性の高い箇所を選定しています。 (1)主な整備内容 ・炉内台車耐火物取替（2台分） ・電動棺台車交換（2台分） ・主燃再燃炉全体積替（4号炉） (2)主な修繕内容 ・エア抜き配管修繕				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	火葬件数		件	2,318	2,415	2,347
	会葬者数		人	28,181	27,959	28,130
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				施設の老朽化による小規模な故障等はあるが、安定的に事業の継続ができていることから、事業の有効性は高く、費用対効果についても高いものと考え「4」としました。
効率性		●				高丘霊葬場は止めることのできない施設であり、精度の高い保守点検により効率的な事業を実施していることから「4」としました。
公平性		●				霊葬場指定管理者及び保守点検事業者とは必要に応じて意見交換の場を設け、十分な調整を行った上で事業の実施に努めています。また、市民の声を参考に施設管理の方法等の見直しを図っていることから「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		2040年頃まで火葬件数の増加が見込まれますが、安定運用を図るため、定期整備の実施に加え、令和6年度に策定した「高丘霊葬場長寿命化計画」に基づき、予防保全型の施設管理、改修を進めていきます。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

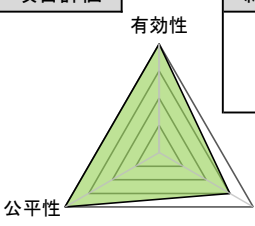
款 04環境衛生費

項 02保険衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号

04020403

事業名		霊園管理基金積立金				
担当部署		環境衛生部環境生活課				
根拠法令		墓地、埋葬等に関する法律、苫小牧市高丘霊葬場条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	3,092	2,832	3,000		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	3,092	2,832	3,000		
	一般財源					
	人件費(B)	742	742	742		
	事業費計(A+B)	3,834	3,574	3,742		
事業の目的		霊園管理基金(以下「基金」という。)は、昭和57年7月から新規墓所の管理料を積み立て、運用利息により霊園の維持管理費を賄うことを目的として設置しました。新規墓所貸付終了に伴い、霊園管理のための基金への積み立ては終了し、現在は、共同墓管理料を将来予想される共同墓の修繕費用に充てるため、継続的に積み立てています。				
事業の内容		1 基金の積立及び取崩しについて 基金について、下記のとおり積立、取崩しを行いました。 ○平成18年度の条例改正により、基金の取崩しを可能にしました。 ○平成29年度の共同墓設置により、共同墓管理料を積み立てることとしました。 令和4年度末基金残高 40,446,162円 令和5年度基金積立金 2,524,000円 令和5年度基金取崩し額 ▲24,097,500円 令和5年度末基金残高 18,872,662円 令和6年度基金積立金 2,574,000円 令和6年度基金取崩し額 ▲7,214,000円 令和6年度末基金残高 14,232,662円 令和7年度基金積立金 2,832,000円 令和7年度基金取崩し額 ▲310,000円 令和7年度末基金残高 16,754,662円				
SDGs17の目標						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	基金の年度末残高		千円	18,873	14,233	16,754
	積立金額		千円	2,524	2,574	2,832
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				基金は、これまでも霊園維持管理や大規模改修工事などへ活用し、墓参者の利便性や安全性の向上に寄与してきました。また、将来の大規模改修時の財政支出の平準化という観点からも、この基金の果たすべき役割は大きいと考え「4」としました。
効率性			●			新規墓所分の積み立てが終了となり、今後は将来の共同墓の修繕を目的として基金に積立することとなることから「3」としました。
公平性		●				平成18年度から基金の取り崩しを可能とし、霊園の維持管理費の不足分や大規模改修工事などにこれまで効果的に活用してきたことから「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		令和6年度に新規墓所の貸付が終了し、新規墓所管理料から当該基金への積立ても終了しました。このため、現在は、共同墓の将来の修繕に係る基金のみ積立てを行っています。霊園の維持管理に係る経費は今後も必要であり、一般財源に加え、新たな基金財源の検討も必要と考えます。今後は、霊園の維持管理及び当該基金を含む霊園の維持管理経費の在り方について、検討してまいりたいと考えています。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

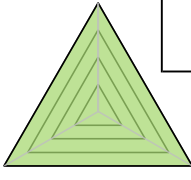
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号

04020404

事業名		霊園改修等事業				
担当部署		環境衛生部環境生活課				
根拠法令		苫小牧市墓地条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	6,640	4,862	0	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	2,000				
	一般財源	4,640	4,862			
	人件費(B)	1,483	1,483	1,483		
	事業費計(A+B)	8,123	6,345	1,483		
事業の目的		霊園内設備の老朽化等に伴う破損箇所について、来園者が安全・安心に参拝できるよう修繕等を実施します。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		 - 高丘第二霊園電気設備更新工事の実施 老朽化した電気設備の取替を実施 - 高丘第二霊園水汲み場単水栓取替の実施 老朽化した単水栓の取替を実施				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	高丘霊園及び高丘第二霊園改修		箇所	1	2	2
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				高丘霊園及び高丘第二霊園ともに供用開始から相当長い年数が経過しており、利用者が安全に安心して墓参するために必要な改修であることから「4」としました。
効率性		●				改修により霊園利用者の安全確保及び老朽化への対策を講じたため「4」としました。
公平性		●				すべての利用者が安心・安全に利用できることから「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		高丘霊園及び高丘第二霊園ともに供用開始から相当長い年数が経過しており、これまで毎年度必要な施設の改修を実施してきました。今後は、改修が必要な箇所がみられたら、利用者が安全・安心に墓参できるよう必要な改修を実施していきます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

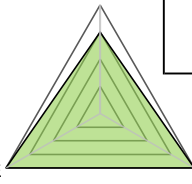
款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号

04020405

事業名		飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成																				
担当部署		環境衛生部環境生活課																				
根拠法令		動物の愛護及び管理に関する法律、北海道動物の愛護及び管理に関する条例																				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価																
	予算・決算額(A)	675	616	675	有効性 公平性 効率性 	A																
	(A)の内訳																					
	国道支出金																					
	地方債																					
	その他																					
	一般財源	675	616	675																		
人件費(B)	1,483	1,483	1,483																			
事業費計(A+B)	2,158	2,099	2,158																			
事業の目的		近年、猫の不適切な飼育による生活環境被害が増加しており、市民や町内会から対策を求められています。猫は非常に繁殖力が強く、本事業により野良猫の繁殖制限を推進することで、生活環境被害の抑制を目的とします。																				
事業の内容		SDGs17の目標  野良猫や遺棄された子猫等飼い主のいない猫の増加を抑制するため、市民や市内で活動する団体等が取り組む猫の不妊・去勢手術に係る費用の一部を助成し支援します。 <table><tr><td>令和6年度実績</td><td>雄（去勢）</td><td>28頭</td><td>180,000円（雄1頭上限7,000円）</td></tr><tr><td></td><td>雌（不妊）</td><td>43頭</td><td>411,000円（雌1頭上限10,000円）</td></tr><tr><td>令和7年度実績</td><td>雄（去勢）</td><td>32頭</td><td>206,000円（雄1頭上限7,000円）</td></tr><tr><td></td><td>雌（不妊）</td><td>41頭</td><td>410,000円（雌1頭上限10,000円）</td></tr></table>					令和6年度実績	雄（去勢）	28頭	180,000円（雄1頭上限7,000円）		雌（不妊）	43頭	411,000円（雌1頭上限10,000円）	令和7年度実績	雄（去勢）	32頭	206,000円（雄1頭上限7,000円）		雌（不妊）	41頭	410,000円（雌1頭上限10,000円）
令和6年度実績	雄（去勢）	28頭	180,000円（雄1頭上限7,000円）																			
	雌（不妊）	43頭	411,000円（雌1頭上限10,000円）																			
令和7年度実績	雄（去勢）	32頭	206,000円（雄1頭上限7,000円）																			
	雌（不妊）	41頭	410,000円（雌1頭上限10,000円）																			
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度																
		不妊・去勢実績	頭	-	71	73																
項目評価		高 → 低	評価の理由																			
		4 3 2 1																				
有効性			●			本事業により、野良猫の繁殖抑制に一定の効果はあるものと思われますが、依然野良猫への無責任な餌やりによる生活環境被害に関する苦情が市に寄せられていることから「3」としました。																
効率性		●				本事業は、野良猫の繁殖抑制に直結することから、効率性は「4」としました																
公平性		●				本事業の対象者は、保護団体のみならず野良猫により生活環境被害を受けている市民や町内会等を対象としていることから「4」としました																
事業の課題 今後の方向性		本事業により、野良猫の繁殖抑制に一定の効果はあるものと思われますが、依然野良猫への無責任な餌やりによる生活環境被害に関する苦情が市に寄せられています。本事業を継続的に実施するとともに、無責任な餌やり等に対する指導も並行して取り組んでいく必要があります。				事業継続・終了等																
						事業継続																
特記事項																						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号

04030201

事業名		資源物中間処理事業									
担当部署		環境衛生部ゼロごみ推進室ゼロごみ推進課									
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例									
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価					
	予算・決算額(A)	224,146	223,879	229,438	有効性 公平性 効率性	A					
	(A)の内訳										
	国道支出金										
	地方債										
	その他	166,056	197,502	122,849							
	一般財源	58,090	26,377	106,589							
人件費(B)	1,483	1,483	1,483								
事業費計(A+B)	225,629	225,362	230,921								
事業の目的		「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向け、ごみとして出された資源物（プラスチック、缶、びん、ペットボトル、紙パック）を選別する中間処理業務を実施し、ごみの減量とリサイクルを推進します。									
事業の内容											
SDGs17の目標											
11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任		各家庭からごみとして排出されたものを分別することで、資源物としてリサイクルするための中間処理事業を実施しました。 1 プラスチックの選別・資源化 2 びん、ペットボトルの選別・資源化 3 缶、紙パックの選別・売却									
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度					
		リサイクル率	%	30.6	31.1	30.5					
		プラスチック資源化量	トン	2,617	2,483	2,431					
		資源物出荷量（缶・びん・ペット・紙パック）	トン	1,506	1,496	1,427					
項目評価		高 → 低	評価の理由								
		4 3 2 1									
		有効性					●				ごみとして排出されたものを資源物としてリサイクルすることは、循環型社会の実現に有効な事業であるため「4」としました。
		効率性					●				プラスチック類を一括回収することで排出を簡便にするとともに、委託事業者において不適物除去の効率化を図っているため「4」としました。
		公平性	●				全ての市民から排出されたごみをリサイクルする事業であるため「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		ごみとして排出された資源物を選別し、再商品化・資源化する本事業を通じて、今後も、循環型社会の構築を目指していきます。									
		事業継続・終了等									
		事業継続									
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

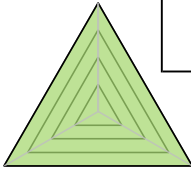
款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号

04030202

事業名		資源リサイクル運動推進事業				
担当部署		環境衛生部ゼロゴミ推進室ゼロゴミ推進課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	189,298	183,143	220,737	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	154,147	148,517	178,073		
	一般財源	35,151	34,626	42,664		
	人件費(B)	22,251	22,251	22,251		
	事業費計(A+B)	211,549	205,394	242,988		
事業の目的		「053（ゼロゴミ）のまち とまこまい」の実現に向け、三つの基本テーマである「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」に関わる様々な事業を実施し、市民と事業者と行政が一体となって取り組みます。				
事業の内容		SDGs17の目標   1 家庭ごみ有料化に伴う事業を実施しました。 (1) 指定ごみ袋の物品購入業務 (2) 流通管理業務委託 (3) 手数料等徴収事務委託 (4) 流通管理システム賃貸借 2 ごみの減量とリサイクルの推進に関わる事業を実施しました。 (1) 集団回収奨励金 (2) リサイクルハウス設置助成 (3) 生ごみ堆肥化容器助成、電動生ごみ処理機助成 (4) 紙類、剪定枝、蛍光管等資源化処理業務 3 まちの環境美化に関わる事業を実施しました。 (1) 環境美化活動助成金 (2) ぼい捨て防止看板の設置 (3) 監視カメラの設置				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		家庭ごみ排出量	トン	32,671	31,745	30,935
		リサイクル率	%	30.6	31.1	30.5
		不法投棄発生件数	件	63	72	71
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				ごみとして排出されたものを資源物としてリサイクルすることは、循環型社会の実現に有効な事業であるため「4」としました。
効率性		●				道内10万人以上の都市の中では、平成26年度以来、リサイクル率トップを維持しているため「4」としました。
公平性		●				全ての市民が参加できるよう、町内会などの市民団体と協力して、各事業を実施しているため「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		これまでの取組により、ごみの排出量やリサイクル率は道内の主要都市でも高い水準を維持しています。「053（ゼロゴミ）のまち とまこまい」の更なる高みを目指し、「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」に関わる様々な事業を展開していきます。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

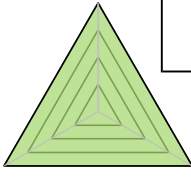
款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号

04030203

事業名		清掃統計処理システム事業				
担当部署		環境衛生部ゼロごみ推進室ゼロごみ推進課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	916	915	916	有効性 	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	916	915	916		
	人件費(B)	1,483	1,483	1,483	公平性	効率性
	事業費計(A+B)	2,399	2,398	2,399		
事業の目的		ごみ排出量やし尿処理量等のデータは、現状分析や施策の企画立案、予算算定の基礎となります。これらのデータを適正かつ効率的に統計処理するため、清掃統計処理システムの定期的な保守管理を実施します。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		 清掃統計処理システム保守を実施しました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				本市のごみ排出量及びし尿処理量等の状況を把握するために、有効なシステムであるため「4」としました。
効率性		●				ごみ排出量及びし尿処理量等の膨大なデータを適正かつ効率的に統計処理しているため「4」としました。
公平性		●				本システムのデータは、適正な予算の算出に利用されているため「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		本システムは、事業の企画立案や予算算出に必要であり、今後の社会情勢や市民ニーズの変化に応じてシステムの見直し等を行っていきます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

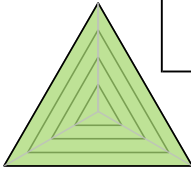
款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号

04030301

事業名		清掃施設ダイオキシン類測定分析業務				
担当部署		環境衛生部ゼロごみ推進室廃棄物処理課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	3,410	3,410	3,912	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	3,410	3,410	3,912		
	人件費(B)	742	742	742		
	事業費計(A+B)	4,152	4,152	4,654		
事業の目的		ダイオキシン類対策特別措置法第28条第1項及び第2項に基づき毎年1回以上、ダイオキシン類による汚染の状況を環境省が定める方法により測定分析するものです。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
 		環境省で定める方法により排ガス、飛灰、焼却灰、工場排水、地下水など24検体のダイオキシン類測定分析を実施しました。 ・焼却施設 : 9検体 ・埋立処分場 : 15検体				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	排出基準値超過件数		回	0	0	0
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			測定分析の実施により、基準値以内で施設を運転し、周辺の環境が保たれていることから、「4」としました。	
	効率性	●			法令で定める方法に基づき、必要な検体数について測定分析を実施したことから、「4」としました。	
	公平性	●			ごみ処理施設周辺の環境保全を確認したことから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		ダイオキシン類の測定分析及び国への報告義務は、法で定められており、施設周辺の環境保全のために本事業を継続していく必要があります。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は環境衛生部ゼロごみ推進室施設管理課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

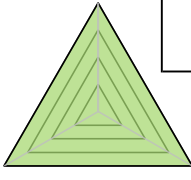
款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号

04030302

事業名		廃棄物処理施設整備基金積立金				
担当部署		環境衛生部ゼロごみ推進室廃棄物処理課				
根拠法令		苫小牧市廃棄物処理施設整備基金条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	102,005	102,005	102,549	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	102,005	102,005	102,549		
	一般財源					
	人件費(B)	-	-	-		
	事業費計(A+B)	102,005	102,005	102,549		
事業の目的		今後の廃棄物処理施設整備を行うための財源の一部として積み立てるものです。				
事業の内容		積立金の財源 ・ごみ広域処理負担金 : 安平町、厚真町の廃棄物を処理した量に対する負担金 ・有料化財源 : 有料指定ごみ袋の収入 ・余剰電力売電収入 : 沼ノ端クリーンセンターの余剰電力売電収入 ・廃棄物処理施設整備基金運用利子 : 積立金運用利子 令和6年度末基金残高 769,833,279円 令和7年度基金積立金 102,005,000円 (内訳) 一般財源 100,000,000円 運用利子 2,005,000円 令和7年度基金取崩し額 0円 令和7年度末基金残高 871,838,279円 令和6年度末基金残高 + 令和7年度基金積立金 - 令和7年度基金取崩し額 = 令和7年度基金残高				
SDGs17の目標		  				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		基金の年度末残高	千円	669,368	769,833	871,839
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				基金積立により、将来の大規模整備事業費用の一部を積み立てることができたことから、「4」としました。
効率性		●				計画どおり基金を積み立てていることから、「4」としました。
公平性		●				ごみ処理に係る手数料や負担金などの収入の一部を積み立てていることから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		将来の大規模整備事業において、基金の一部を充当することで財政負担を軽減できることから、計画的な基金積立を継続します。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は環境衛生部ゼロごみ推進室施設管理課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

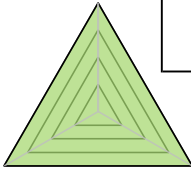
款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号

04030303

事業名		沼ノ端クリーンセンター整備事業				
担当部署		環境衛生部ゼロゴミ推進室廃棄物処理課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法、労働安全衛生法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	201,071	201,070	211,474	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債	150,800	150,800	158,600		
	その他	50,271	50,270			
	一般財源			52,874		
	人件費(B)	2,225	2,225	2,225		
	事業費計(A+B)	203,296	203,295	213,699		
事業の目的		廃棄物処理施設の安定した稼働と適正な処理を維持するために、法に基づく定期検査及び確認を行い、経年劣化部分に必要な整備を実施するものです。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
9 産業と資源効率の改善を通じた経済の持続的な成長 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を		定期整備で摩耗損傷状態の確認を行い、経年劣化部分に必要な整備を行いました。 【整備内容】 燃焼設備／燃焼ガス冷却設備／排ガス処理設備／雑設備／電気計装設備／破碎設備				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	故障による停止日数		日	0	0	0
	廃棄物受入停止日数		日	0	0	0
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			ごみ処理が安定的に継続されていることから、「4」としました。	
	効率性	●			定期整備の結果、必要とされた整備を行っており、「4」としました。	
	公平性	●			市民が排出したごみを処理する施設の整備であり、市民生活には不可欠なインフラ整備であるため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		衛生的な市民生活に欠かせないごみ処理施設の安定的な稼働のために、今後も整備事業を継続することが必要不可欠です。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		令和7年度担当部署は環境衛生部ゼロゴミ推進室施設管理課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

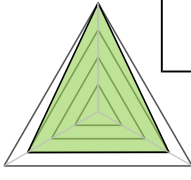
款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 04し尿処理費

事務事業番号

04030401

事業名		西町し尿処理施設改修事業				
担当部署		環境衛生部ゼロごみ推進室ゼロごみ推進課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	2,348	533	2,998	有効性  公平性 効率性	B
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,348	533	2,998		
	人件費(B)	3,709	3,709	3,709		
	事業費計(A+B)	6,057	4,242	6,707		
事業の目的		し尿処理施設は、一般廃棄物である汲取便所のし尿や浄化槽の汚泥を処理するための施設です。当施設は、運転開始から40年が経過し各設備の老朽化が進行しておりますが、計画的に整備や補修を実施することで、安定的にし尿及び汚泥の処理を行います。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
   		し尿処理施設重量シャッター修繕工事を実施しました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		し尿処理量	kℓ	11,269	11,135	10,515
		汚泥処理量	kℓ	4,407	4,428	4,446
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				し尿及び汚泥処理を継続するために必要な事業であり、かつ、市民や事業者にとって必要不可欠な事業であるため、「4」としました。
効率性			●			本事業により、し尿及び汚泥を効率的に処理できることから、「3」としました。
公平性			●			対象は、下水道認可区域外の市民や事業所となるが、地域の生活環境の改善や環境汚染防止に繋がるため「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		令和7年4月に策定した東胆振定住自立圏共生ビジョンに則り、し尿処理及び浄化槽汚泥処理の効率化を図るため、圏域内で排出されるし尿処理の共同化に向けて、関係機関と取組を進めていく必要があります。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

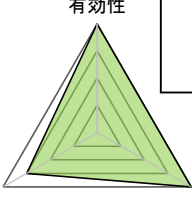
款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 04し尿処理費

事務事業番号

04030402

事業名		合併処理浄化槽設置整備事業				
担当部署		環境衛生部ゼロごみ推進室ゼロごみ推進課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,500	900	1,500	有効性 公平性 効率性  <td rowspan="6">A</td>	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	130	129	138		
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,370	771	1,362		
人件費(B)	1,483	1,483	1,483			
事業費計(A+B)	2,983	2,383	2,983			
事業の目的		下水道認可区域外の市民を対象に、単独浄化槽や汲取り便所から合併処理浄化槽への切替を促進し、適正に維持管理することで、生活環境の改善や河川等の汚濁を防止します。				
事業の内容		SDGs17の目標     1 合併処理浄化槽の設置促進に係る周知の実施 浄化槽設置整備事業補助金交付制度を活用し、合併処理浄化槽未実施世帯へ周知を行うとともに、現地聞き取り調査や市ホームページにおいて周知 2 適正な指導の実施 浄化槽法第7条及び第11条に規定されている定期法定検査について、未受検者や検査結果が不適正となった世帯や企業に対し、適正な指導を実施				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		合併処理浄化槽設置補助件数（住宅用）	件	1	0	1
		事業所からの合併処理浄化槽設置申請受理件数	件	20	22	14
		浄化槽維持管理基準値達成割合	%	100	100	100
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				生活環境の改善や環境汚染防止のため、下水道認可区域外の市民や事業者から出る排水を処理する必要があることから、「4」としました。
効率性		●				浄化槽設置整備事業補助金交付制度の申込みは1件で、公共下水道と合併処理浄化槽を合わせた汚水処理人口普及率は99.9%に達成していることから、「4」としました。
公平性			●			対象は、下水道認可区域外の市民や事業所となるが、地域の生活環境の改善や環境汚染防止に繋がるため「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		公共下水道と合併処理浄化槽を合わせた汚水処理人口普及率は99.9%を達成しています。今後も100%を目指し粘り強く制度の周知を図り、合併処理浄化槽の普及拡大に努めていきます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						